

「豊根村成人式」 若者の門出を祝う

従来の成人式に当たる「二十歳を祝う会」が二日、豊根村のよね文化広場であった。昨年の民法改正に伴い、成人年齢が十八歳となったため、新たに式

典の名称を「豊根村成人式」二十歳を祝う会」とし、若者の門出を祝った写真。

村を離れて暮らす若者が多いことから、正月の帰省のタイミングに合わせて式典を開くのが恒例。十三人の対象者のうち十二人が参加し、スーツや振り袖に身を包み大人の自覚を新たに示した。一人ずつ抱負を述



べ、愛知教育大二年の村井悠真さん(左)は「小中の教員免許を取得できるように頑張っている。将来は豊根や北設楽郡に教育で携わっていきたい」と力を込めた。対象者の多くが生まれた二〇〇二年に千六百人以上いた村民は、昨年七月に千人を割るなど、人口減が進む。伊藤実村長は「ふるさと豊根の村づくりに協力していただけることを期待している」と述べた。